



山下千秋市議

事務所 0956-25-3030

携帯 090-4474-2666

党地区事務所 0956-25-6811



# 玄海原発の運転再開中止と 原発からの撤退を

## 山下千秋市議が賛成討論

7月12日に閉会した定例6月市議会。山下千秋市議は原発ゼロをめざして、議会内外で頑張りました。

市民団体から「玄海原発の

運転再開中止と原発からの撤退を求める」請願が出されました。玄海原発から佐世保市は近くて30km圏内。40km圏内に佐世保市全体が入り、福島原発事故が収束していないなかで、玄海原発の運転再開中止は当たり前。しかも国主催の「玄海原発説明会」で、九電が運転再開のために「やらせメール」をしていたこと

が発覚。

山下千秋市議は「安心・安全に佐世保で暮らしたいとい

う当然の市民だ」と、この請願に賛成しました。社民党も賛成。しかし民民主党、自民党、公明党などが反対して、この請願を否決しました。



## 原発以上に危険な 原子力艦船の原子炉

朝長市長は、「合衆国の原

原発の「安全神話」の崩壊は、米原子力艦船の原発の「安全神話」も崩れたことを意味するのではないでしようか。山下千秋市議は6月市議会の代表質問で、玄海原発の再稼働問題とともに、動く原子炉と云われる米原子力艦船への佐世保市の対応について質問しました。

山下市議は、「今回の福島原発事故だけでなく、これまでの世界の原発事故をみても、原子炉を使って核エネルギーをとりだす技術は未完成です」「原子力艦船の原子炉は『加圧水型』で福島原発の『沸騰水型』とは違いますが、同じ『加圧水型』の関西電力美浜原発（福井県）でも事故

を何度もおこしています。『加圧水型』の原子炉だから事故を起こさないといい

分はなりたちません」と、事故が起こる危険性を指摘しました。

### 総務委員会

## 消防職員の増員を 全会派一致で盛り込む

「人々が安心して暮らせるように、私たちは闘います」とホームページで訴える佐世保市消防局。しかし佐世保市消防局の職員数は国の基準502人を大きく下回っていて、現在373人（充足率74.3%）。129人足りません

が、現在54人分の財政的余裕

「人々が安心して暮らせるように、私たちは闘います」とホームページで訴える佐世保市消防局。しかし佐世保市消防局の職員数は国の基準502人を大きく下回っていて、現在373人（充足率74.3%）。129人足りません。これには保守会派も含めて全会一致で、消防職員増員を求めていくことになりました。

### お知らせ

#### 議会報告・学習会

#### 「原発と動く原発・原子力艦船」

○とき 7月23日(土) 午後1時30分より

○ところ 市民会館D集会室

○話をする人 山下千秋市議

小泉親司・党基地対策責任者(元参議院議員)

どなたでも参加できます。たくさんの方の「赤旗」読者のみなさんご参加を。



### 原発ゼロをめざして 四ヶ町パレード

7月2日、原発ゼロをめざして市民団体とともに四ヶ町でパレードした山下千秋市議。この日は東京・明治公園で「原発ゼロをめざす全国緊急行動」が行われ、2万人が集まりました。